

議会だより

題字：島袋 航弥（古堅小学校5年生）

議員一般質問（18名）…………… 8

おっはー団体さん（古堅小学校読み聞かせサークル・バステル会）…20

47号

がんばった運動会（村内5小学校）

2011年9月定例議会



第401回 臨時議会

議案番号	件名	結果
議案第38号	読谷中学校運動場整備工事（2期）請負契約について	可決
議案第39号	平成23年度 村道楚辺座喜味線整備工事請負契約について	可決
議案第40号	平成23年度 村道親志波平線整備工事請負契約について	可決
議案第41号	バイオマス試験研究施設炭化装置設置工事請負契約について	可決
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任（比嘉 進氏）について	同意
	読谷村農業委員会委員の推薦について	決定
陳情第1号	子どもの医療費助成の拡充を求める陳情	不採択
陳情第2号	沖縄県教育委員会の教育事務所統廃合による、市町村教育委員会への業務移譲と学校事務の共同実施拡大への慎重な対応を求める陳情書	不採択
陳情第3号	沖縄県教育委員会による市町村教育委員会への諸手当の認定業務の移譲受入れと、学校事務の共同実施推進拡大に関する陳情	採択
陳情第4号	陳情書（土地改良施設使用願いについて）	不採択
陳情第5号	陳情書（南部地区幹線道路の整備について）	継続審査
陳情第6号	渡具知海岸沿いの遊休地への「温泉つき リゾートホテル」の実現に関する陳情	継続審査
決議第9号	村内産品及び村内企業の優先使用に関する決議	採択
報告第7号	平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業及び決算の報告について	報告
報告第8号	平成22年度読谷村健全化判断比率の報告について	報告
報告第9号	平成22年度読谷村下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	報告
報告第10号	平成22年度読谷村水道事業会計資金不足比率の報告について	報告

議案番号	件名	結果
議案第31号	平成23年度 村道中央残波線整備工事請負契約について	可決
意見書第6号	米国海兵隊の垂直離着陸輸送機「MV22オスプレイ」の普天間飛行場への配備計画に反対し、撤回を求める意見書	採択
決議第8号	米国海兵隊の垂直離着陸輸送機「MV22オスプレイ」の普天間飛行場への配備計画に反対し、撤回を求める抗議決議	採択

第402回 定例議会

議案番号	件名	結果
認定第1号	平成22年度読谷村一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成22年度読谷村診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	平成22年度読谷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	平成22年度読谷村老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	平成22年度読谷村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	平成22年度読谷村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	平成22年度読谷村水道事業会計決算認定について	認定
議案第32号	平成23年度読谷村一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第33号	平成23年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第34号	読谷村税条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第35号	読谷村公共施設建設基金条例	原案可決
議案第36号	読谷村暴力団排除条例	原案可決
議案第37号	読谷村の公平委員会の事務の委託に関する規約を定める協議について	原案可決

建設経済常任委員会 県外所轄事務調査

調査内容 ◆ 地元経済の活性化、地域ブランドの確立、自然再生エネルギー
 調査場所 ◆ 高知県馬路村・梶原町
 期 間 ◆ 平成23年10月5日～10月8日
 参加委員 ◆ 委員長／大城行治・副委員長／伊佐眞武
 委 員／知花徳栄・山城正輝・嘉手苺林春・當山勝吉

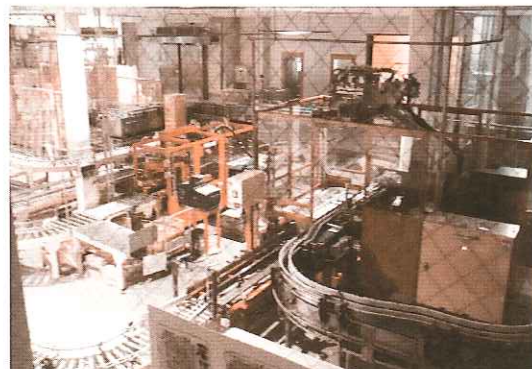
○高知県馬路村

総面積 165.52km²、森林率96% (内国有林75%) 人口1,016人 世帯数460世帯 (平成23年4月現在)
 過疎の村であるが、合併はせず独自の村づくりを行っている。特別村民制度で交流人口を拡大すると共に、馬路村の応援団を作り産業の振興につなげようという小さな村ならではのユニークな取り組みを行っている。
 特産品として、ゆず加工が村の産業として大きな役割を果たしている。
 ゆず加工場では、地元雇用・地元経済の活性化にこだわり、「ゆずを売ることは馬路村を売ること」というコンセプトで、30億円以上の年間販売額を達成している。自然豊かな山深い小さな村が、特産品である「ゆず」の商品(ごっくん馬路村等)を、馬路村と言う地域とそこに住む村民が一体となって取り組み、地域ブランドの確立を成功させた事例である。

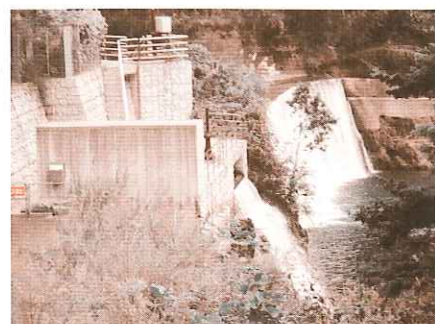
○高知県梶原町

総面積236.51km²、(内91%が森林) 人口3,853人 世帯数1,777世帯 (平成23年3月現在) 風力、太陽光、水力、地熱等自然再生エネルギーを活かした街づくりに取り組んでいる。
 平成11年には、標高1,300mの四国カルストに2基の風車を設置、平成21年には、「環境モデル都市」の指定を受け、風力発電による売電益により、CO²排出削減設備の普及と、CO²吸収減の整備を図っている。また間伐材や端材などから木質ペレットを生産し、ペレットストーブ等の燃料にも活用をしている。
 そのほか学校近くの梶原川にあるわずか6mの落差を利用して、発電出力53kWの小水力発電で昼間は学校に、夜間は街路灯に利用している。
 また地熱を活かした温水プールの施設運営、住民に対しての住宅太陽光施設設置に町が補助金を出しておりエネルギー自給率100%を目指している。

高知県のそれぞれ特徴のある2町村を視察したが、百聞は一見に如かずである。地域の気候風土の中で育つ特産品にこだわり、地元にある資源を最大限生かして街づくりに取り組んでいる。両町村の意気込みを肌で感じる事ができた。
 今回の視察は、読谷村の特産品である紅イモを使用した商品や、6次産業として取り組んでいる商品とJAや商工会、漁業、行政等との連携がこれまで以上に重要である事を再確認した。また太陽光を利用した自然エネルギーの普及や風力発電の可能性なども、今後調査をしていくべき課題であります。特産品の今後の展開のあり方、3,11後の自然再生エネルギーを活かした取り組みはどうかあるべきかと、問い直す視察でありました。



ゆず加工施設



小水力発電施設

文教厚生常任委員会 県外所轄事務調査

調査内容 ◆ 健康づくり・福祉の取り組みについて
 調査場所 ◆ 長野県松本市・松川町
 期 間 ◆ 2011年10月17日～20日
 参加委員 ◆ 委員長／長浜宗則・副委員長／津波古菊江
 委 員／照屋清秀・山内政徳・上地利枝子・国吉雅和



調査目的

読谷村においては、健康づくりを最重要課題として位置づけ平成17年3月に健康増進計画(いきいきよみたん21)が制定され、平成20年3月に「健康の村」づくりが提案されました。平成24年までに特定検診受診率65%・特定保険指導実施率45%へ向けて鋭意取り組んでおります。今回の文教厚生常任委員会は健康づくりに行政・地域・住民が一体となり成果を挙げている長野県、松本市・松川町の調査を行いました。松本市の調査内容は熟年体育大学と福祉広場について

松本市の概況は、人口243,564人、高齢化率23.7%、要支援2は570人、要介護者数7,651名。
 ※熟年体育大学事業は急速な高齢化、運動不足による体力低下、生活習慣病の増加を踏まえ、熟年者を対象に健康増進を図ることを目的で平成9年に開講され今日までに2000人が卒業した。対象は40歳以上、男女100名で2年制大学、信州大学、松本大学と民間企業の協力を得て松本教育委員会生涯学習課が主管している事業で成果としてコレステロール、血圧、血液検査値等の改善がみられたとの説明でした。

※福祉ひろばについては地域住民が主体となり、福祉で自助・共助・公助で地域ぐるみの健康づくりを目指し福祉ひろばの運営を地域福祉ひろば事業推進協議会へ委託、各地区高齢者人口に応じて補助金があてられ運営している。各地区にあった活動でお互いの健康維持、生きがいづくりに取り組んでいる。

松川町の調査は特定検診受診率向上策と生活習慣病対策についてと子ども未来課の設立の経過について

松川町は人口14123人、国保加入率4190人(29.7%)

特定検診・特定保険指導は

	20年	21年	22年
特定検診率	64.5%	62.4%	62.6%
特定保険指導率	31.0%	36.4%	45.5%

実施体制として、集団検診、個別検診に力を入れ特に集団検診は150回実施し74自治会を中心に説明会や電話、戸別訪問等を行っている。継続受診のため未受診台帳を活用している。特定検診受診率者で予備軍が70%をこえるので出前講座で重点的に取り上げ訴えている。

こども未来課設置について

平成18年行政改革推進会議で生まれてから中学卒業まで、一貫して保育と教育が理想であるとの観点から子ども未来課を教育委員会に設置する。

幼稚園はなく、町営保育所6箇所待機児童はいない、放課後児童クラブは3小学校、2小学校区に2か所の児童館があり全ての公立で子育て支援が行き届き働く親の環境が整っている。



一般質問
18名議員

我が村政を問う

●伊波 篤

- 1 住宅用太陽光システムの購入補助制度を導入してはどうか。
- 2 子育て支援について
- 3 トリイ通信施設内への新たな米軍施設建設計画について、現在まで行われた作業内容と結果、今後のスケジュールの詳細を把握しているか。
- 4 米軍人・軍属所有の軽自動車税の徴収について。

●仲宗根盛良

- 1 政務調査費に関する条例制定について
- 2 渡慶次小学校の移転について。
- 3 無年金者を少なくする対策について。
- 4 読谷村歌（昭和51年12月24日制定）について
- 5 沖縄振興一括交付金について

●上地 榮

- 1 人間ドックの際の補助について、周辺市町村並みに上げられないか。
- 2 シルバー人材センターの設立について
県内15の市町村においてシルバー人材センターが設立され、高齢者が就業を通じて生きがいの充実を図り、地域発展に寄与している。
- 3 読谷まつり闘牛大会について
去る7月21日の新聞報道によると、平成22年度において初めて5万件を超え過去最多となったとあるが、本村の現状は？

●照屋 清秀

- 1 本村の人口が平成23年4月に4万人を超えました。人口増加に耐えうる受け皿が必要とされている中で、村当局の考える村の将来像について
- 2 中央残波線ルートの見直し事業の見直しについて。
- 3 読谷山花織事業協同組合の展望について、村としての支援策等について

●大城 行治

- 1 地方分権の中で旅券法が改正され、市町村の窓口でも旅券業務（パスポート業務）が出来るようになっております。平成23年4月1日現在県内においては、24市町村の役場でパスポート申請・受取が可能になっております。
- 2 ふたたび、指定管理者による管理について
- 3 沖縄振興一括交付金（仮称）について
沖縄県は県と市町村に交付される国庫支出金のうち二〇二二年度の沖縄振興予算を、使途の自由度の高い「沖縄振興一括交付金（仮称）」として三〇〇〇億円配分する事を決定しています。（8月23日現在）
- 4 総合評価落札方式について
読谷村は平成22年度1件、平成23年度3件の公共工事を総合評価落札方式で実施するようである。

●嘉手苺林春

- 1 親志・横田地域に街区公園の設置は考えられないか。
- 2 横田自治会へ行政運営補助金を交付し、さらに円滑な自治会運営が図られるように行政としての役割を果たして頂きたいが、当局の考えについて伺う。

●當山 勝吉

- 1 入札制度について。
- 2 各字公民館へのインターネット導入について

●比嘉 郁也

- 1 村民健康づくりについて。
ア、健康づくりサポーターとは。その設置目的と役割りは。
イ、活動内容はどのようなものか。
ウ、これまでの実績と自己評価を伺う。
エ、これからの課題は。

●山内 政徳

- 1 一人暮らし世帯、地域ぐるみで見守りシステムを。
- 2 学校施設の防災機能強化について。
- 3 うつ病対策について。
- 4 学校給食の安全について。

●津波古菊江

- 1 平成23年3月11日、東日本を襲った大地震に関連して読谷村の防災と被災者支援について。
- 2 台風後の道路上の草木の葉等のゴミ回収の際の市販ビニール袋の使用について
- 3 長田川流域の大雨による冠水について
去る台風9号の大雨で2メートル近く冠水した事についての対応を伺います。

●國吉 雅和

- 1 中学校教科書選定について
- 2 行政区改善等について
- 3 読谷飛行場跡地和解耕作者以外の土地明け渡し状況について
- 4 産業振興について

●山城 正輝

- 1 国道58号バイパス読谷道路内（県道12号線から村道中央残波線間）旧県道を交差復活させるよう交渉すべきことについて
- 2 児童館を各小学校区毎に建設すべきことについて
- 3 六次産業の活性化で地場産業を強化すべきことについて
- 4 村営火葬場前浜に存在するビーチロックの保存策について
- 5 太陽光発電でダム揚水し、農家負担を軽減すべきことについて
- 6 読谷村の「買い物客」の集客力をどう認識し、どう高めるか。

●當間 良史

- 1 村道座喜味13号線周辺の進捗状況について
- 2 古民家の有効活用及び再生支援について
- 3 読谷村陸上競技場の周辺整備の進捗状況について

●長浜 宗則

- 1 行政サービスから
- 2 村道の街路樹と景観から
- 3 読谷村の公共工事から
- 4 村民体育館の建設について

●伊佐 眞武

- 1 国道読谷道路及び嘉手苺納バイパスについて。
- 2 比謝川、長田川の環境整備について。
- 3 比謝橋碑文前の生活排水路について。
- 4 比謝3号線沿いの4台の放置車両について。

●上地利枝子

- 1 保育行政について。
- 2 読谷村地域福祉計画。
”子どもからお年寄りまで、皆で支え合い共に生きるむらづくり”について
- 3 本村における包括支援センターの業務と活動内容について。

●城間 勇

- 1 行政区改善について。
- 2 南部地区幹線道路の整備構想について。
- 3 読谷山芋スープについて。
- 4 読谷まつり闘牛大会について。
- 5 急傾斜地崩壊危険箇所について。

●知花 徳栄

- 1 県が二〇二二年度から導入を目指す三〇〇〇億円の一括交付金について。
- 2 行政区改善等について。
- 3 去る25日、県知事が村漁協の定置網漁とトリイビーチ内の石積工作物を視察した新聞報道があったが
数多くの村民要望の中から
イ、残波岬等での水難事故救助用具（ロープ、浮槽、AED等）の設置ができないか。
ロ、シムクガマ近辺の進入路が侵食され危険な状態にあり、防護パイプの設置は出来ないか。
ハ、歴史民俗資料館前駐車場の舗装計画はないか。大型駐車場部分6台の内4台分がデコボコで危険性がある。
ニ、セーラの森公園内遊歩道は大雨時に危険、雨水処理を確認の上改善処策を願う。



伊波 篤

質 住宅用太陽光システムの購入補助制度を導入できないか。

健康環境課長 地球温暖化防止等の効果は大である。導入については、調査研究をしていく。

質 財政面から見て制度導入の可能性は、

企画財政課長 自然エネルギー問題は避けて通れない。近隣の市町村の事例もふまえ、調査研究していきたい。

質 調査研究をしている

間には時間も経過する。タイムリー制も必要と思う。

副村長 趣旨については理解をする。財政面、タイムリーも含め、具体的に検討をさせて頂きたい。

質 公立5幼稚園の預かり保育の定員拡充と時間延長ができないか。

学校教育課長 現在の定員の状況は、設立当初の子育て支援の目的から、その機能を十分果たしていると考えている。時間延長については、幼児の心身の負担に配慮するという観点から現在の時間が望ましいと考えている。今後共働き家庭、就労支

援の観点から先生方の協力を得ながら話し合いをしていきたい。

質 トリイ通信施設内への新たな施設建設計画の詳細の把握は、

跡地利用推進課長 平成24年4月から着工する予定であるが、詳細についてははまだ決まっていないことである。

質 6月に行った要請行動の成果が何も見えないが、

跡地利用推進課長 トリイ、地元区長、村との間で連絡協議会が2ヶ月に一回開催することが決まり、防衛局からも4者会議を開きたいとあった。

質 施設建設について新たにわかつている事があるか。

跡地利用推進課長 防衛局から新たに連絡があった。渡具知側の資材倉庫が老朽化で4000平方メートルの倉庫と大木のほうに大隊事務所のオフィスが8000平方メートルの別館が8000平方メートルで建設されている。連絡会議の中で施設建設には最小限の規模と最大限の配慮を払ってもらいたいと申し上げている。

質 米国人・軍属所有の軽自動車税の減免処置の内容と理由について。

税務課長 4輪以上で年額三千元、3輪または2

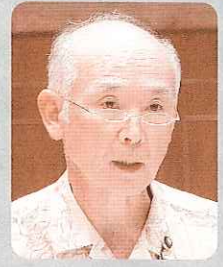
輪で千円。2輪の小型自動車千円、原動機付自転車五百円となっている。日米地位協定13条の規定に基づき日米合同委員会で合意されている。

質 県税事務所と連携し新たな納税環境の方法を提案できないか。

税務課長 県税との会議の中で提案し、可能であれば実施していきたい。



太陽光システムを設置した住宅



仲宗根盛良

一、政務調査費の条例化に対する考えを伺う。

答 議会と執行部が意見交換する中から一致点を

議をしたい。

二、渡慶次小学校への通学路の安全対策に関し、このままの状態が良いと考えているのか。

答 村道高志保くす座線は通学の安全確保の上で好ましい状況ではない。いろいろの方策を検討したが、現在の状態が続い

えてない。

④ 第5次（平成30年から）の村総合計画の中から）の村総合計画の中に渡慶次の土地改良区辺りへの渡小の移転計画が策定できないか。

答 移転の提起があったものとして受けておく。

三、本村での無年金者は何名を想定されているのか。

図り、一人でも多くの村民の年金確保に努力するべきと思うが。

答 窓口における相談業務の充実を図り、嘱託職員も検討したい。

四、読谷の村歌をもっと身近なものとして活用が図れないか。

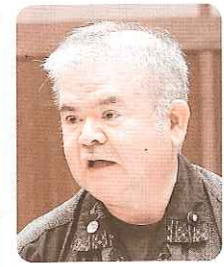
答 村歌制定の趣旨を村

答 地域主権の立場から自由度の高い制度が必要であり、平等で公平に配分される制度であるべきと考えている。

② 制度活用に関し、村と県との関係はどのように調整されていくのか。

答 平等及び公平性の確保という点で、市町村と

一 般



上地 栄

見出ししたい。

② 政務調査費の活用によって、議会の活性化と村民サービスの向上が図られると思うがどうか。

答 議会活性化の一助となると考えている。

③ 条例は予算処置に伴うが財源の対応は可能か。

答 金額についても双方協

②については、平成23年度で中部8市町村と本村同規模の3市町村合わせて、最も高いのが北谷町の二万円、最も低いのが読谷村の一万二千元。調査11市町村平均で約一万六千元である。③については、低い理由は限られた予算で多くの住民に受診してもらいたいため。又、周辺市町村並み上げることにしている、予算の効率的運用で努力する。

質 シルバー人材センターの設立について。①県内の15市町村のシルバー人材センターの活動状況はどうなっているのか。

②同センターの設立が必要と思うがどうか。

答 ①については、シルバー人材センターは、おおよそ60歳以上の方がが仕事を通して社会参加をし、健康づくりと生きがいを求めている方々に臨時的に仕事を提供し、地域社会の活性化に寄与する目的に組織された団体で、主な仕事は、屋内外の清掃作業や駐車場の管理、訪問介護事業の実施等多岐にわたっている。

② については、当該センターの設立は、高齢者の皆様の幅広い知識や経験、技能とその人脈を通して生きがいや健康づくりは

もより地域発展に非常に意義がある。これまでに老人医療の高騰の抑制や介護予防の観点からも一般質問にも取り上げられた。又、本村老人クラブ連合会も同センターに関するアンケートが実施され、その結果では設立が望ましいと言っている。望ましいと言っているが、調査の過程で運営資金面等多くの課題が出されて役場内では同センターの設立は考えてない。

質 読谷まつり闘牛大会について。①本村が闘牛大会の発祥の地と聞くが、

② 読谷まつり闘牛大会の場所変更について。

答 ①については、村史に

よると「県下初の有料闘牛大会が昭和8年に読谷山で開催された。」とある。②については、現在の場所でお願したい。

質 児童虐待について、

答 ①本村における実態は、平成20年度に8件、21年度に38件、22年度に17件である。②取り組みについては、家庭児童相談員一人、福祉相談員一人が常勤し、対応している。



村道で二分された渡慶次小学校



他目的ドーム(イメージ図)で闘牛の振興を!



照屋 清秀

一、平成23年4月村民が4万人超え人口増加に耐えうる受け皿が必要の中、村の将来像は

質 都市的市街地としての位置づけされた南部地域の将来像は。

答 中南部都市圏に近く通勤、通学等利便性高く、インフラ整備進んでいる。海を望む住宅市街地。南部地域の核となる市街地。広域圏に開かれた市街地の位置づけをしている。

再質 用途地域無指定

(白地)の用途見直しの根拠は。

答 建築時のトラブル等により見直す。

質 都市的市街地としての誘導手法は。

答 土地区画整理事業や道路整備事業によるインフラ整備等

質 都市化による自治会未加入者が増える傾向に対する当局の考えは。

答 人口流動性が進み地域住民のコミュニケーションの稀薄化の進行は全国的な傾向。村へ転入される方々に行政区加入のチラシ配り、村づくりへの参加等呼びかけている。

質 人口増によるハード

面での施策の増大は想定しているか。

答 大湾東地区、大木地区等の大規模返還軍用跡地に都市基盤整備を中心としたハード事業の想定

質 農村・田園集落地域としての北部地域の将来像は。

答 地域の環境や歴史、文化等の特性を活かし、農村・田園集落地域、農業振興地域、観光・リゾート施設地域及びレクリエーション地区のバランスを配慮し活気のある住みよい地域を目指す。

質 北部地域の遊休耕作地の状況は。

答 平成22年度、農用

地区地域内で約1.9ha

二、中央残波線ルート見直し事業の見通しは

質 現在の進捗状況は

答 平成22年度、事業費で約56%。23年度中に国道読谷道路から旧軍道間の暫定的供用予定

質 ルート見直し以前に支出された補助金等の返還は。

答 沖縄総合事務局や沖縄県と協議中。

三、読谷山花織事業共同組合の展望と村の支援策は。

答 販売実績の減少を踏まえ、パンフレットやホ



道路のインフラ整備が早急に必要！(モーガンマナーの道路)



津波古菊江

質 読谷村の災害用備蓄物資の種類と数量を伺う

答 食糧五一七八食、水六二四本(二リットル)ペ

備蓄量と目標数字は

地域防災計画で人口の5%二十分の一が目標、三食三日分六万食の備蓄の六割から七割備蓄三、四割を流通備蓄の方向で作業中。水はコカコーラ社自動販売機提供で役場喫茶室、福祉協議会駐車場前一台、避難場所五十ヶ

所、津波時四ヶ所設定震災後よりきめ細かい防災マップの作業中、業者支援は管工事組合、電気保安協会、建設資材リース店二ヶ所、簡易トイレ、発電機等の災害支援協定を締結している。

再質 食糧品目について？

米、ビスケット乾パン

再質 男女共同参画の視点で女性の生理用品、粉ミルク、哺乳ビン、消毒器具、離乳食、小型スプレー等の準備計画は？

答 寝袋、オムツ、ミルク缶詰他諸々あるがリストアップして次の機会の補正で考えている。

質 村内に避難されている被災者の方々の現状と

村内で被災地、被災者へ支援活動をしている方又支援希望者の把握と連携はどの様にされているか

答 八月で岩手県一世帯二名、宮城県二世帯二名、福島県二世帯二名住民票異動なし。水道料金一

旧指定袋とボランティアゴミですという印刷物を一緒に配布してあるのでそれを利用する事。

質 長田川流域の大雨による冠水について、去る台風九号の大雨で二メートル近く冠水した事についての対応を伺います。

答 大雨時には大量の雨

般

ットボトル)で地域防災計画の三十九%で、毛布二十枚、

再質 目標達成時の数値と達成年度、避難者の想定人数と食糧の数、水の確保の販売機等の設置場所建設業者の方々の災害時の支援協定内容等は？

質 小中学校における児童生徒の防災力の習得の為の防災計画の取り組みについて伺う。

答 小学校で年二回災害と津波の想定訓練と学校不審者の侵入想定訓練や消火器の実演や職員のAED研修も行っている。

出ないよう努力していきたい。



災害対応型自動販売機



國吉 雅和

一、中学校教科書選定について

答 教育長が委員として出席する「中頭採択地区連絡協議会」で、調査委員の先生方が専門的な立場から調査した教科書を選定し、村教育委員会で採択決定を行い地区協議会へ報告する

質 村の教育行政をどのように考えているのか

答 (村長) 八重山地区で非常に残念な事が起きて

いると思います。教科書問題県民大会で大勢の人が集った沖縄で、教科書選定で問題が発生するとは思ってもみませんでした。村の教育行政については、教育の独立性を保ちながら信頼関係の中で進めていきたい。

二、行政区改善について

答 行政区加入率は、平成十八年度五五%で三十三年度五二%で四%減です。地域活動への参加者が減少すると村全体の協働性が稀薄になり村民の声を行政に反映する仕組みや伝える仕組みが変化します。

再質 新制度の実施は

答 平成二五年度実施で業務の見直し、自治制度の明確化と共に、地域振興策としての助成制度のあり方を見直しを通して、魅力のある地域づくり村づくりにとって普遍的なものは何かをお互いに見出していきたい。

三、読谷補助飛行場跡地和解耕作以外の状況について

答 人数で五四名・面積で約一九ヘクタールです。その中で今年度内の予算を確保している事業は、明け渡し交渉の目処がついて居り、又次年度以降の事業についても支障が

出ないよう努力していきたい。

四、産業振興と残波線(指定管理)地域の活用について

答 観光産業は多くの業者に関係し「ゆんたんざ産業づくり」の一環とし

て推進しています。平成二四年度開催予定の「全国シニアソフトボール大会」・「全国サイクリング大会」等観光振興に取り組む。

質 残波いこいの広場活用について

答 現状の部分改善することが可能かについては検討したい。

(提案) 村内観光施設だけで百億円以上の売り上げを出す今日、観光産業に特化した行政の部署を設ける必要性を提案する。



訴えられた教科書問題



山城 正輝

選挙後一年経過、議会改革は進んだか？

議員の仕事の第一は、村行政に提言をする事であり、その場が一般質問である。これまで五回実施、約三〇件提案してきた。第二は、行政を監視することである。これまでに三回の予算決算を通して議論してきた。第三は、議会自身の改革である。インターネット中継という歴史的成果は実施したものの、議会基本条例の

学習会さえも行われず、改革の進展は疑問。いよいよ二年目に突入。二年目は、種をまき、芽を出させる大切な時期。目標を持つて頑張らなければなりません。

児童館建設ー一緒に頑張って振興していきたい！

山城正輝 児童館建設について、部長は六月議会で「議論を始める。」と明言したが、進捗状況はどうなっているか。仲宗根盛和生活福祉部長 次世代育成支援対策推進行動計画に位置づける必要がある、「いきいき親子夢プラン」での位置づけ、検討、ニーズ調査

村内での買い物強化はー企業対策で！

山城 県の買い物動向調査によると、村民は八、二%しか村内で買い物をするが、どう考えているのか。石嶺村長(数字が)高いのがいいのか、低いのがいいか、これからの議論になる。

六次産業推進ー総合事務局などと調整努力！

山城 一次、二次産業をひつくるめて、総合的に推進しようという総合事務局の認定事業を活用すべきではないか。福地政勝農業推進課長 農家の方々とも再度お話しを進めたい。

自然のクラフト・ビーチロッカー紹介したい！

山城 火葬場前浜の貴重なビーチロッカーを保存し、文化財指定すべきではないか。仲宗根求文化振興課長 専門家に見てもらい、所見をもらおう。

座喜味読谷道路内旧県道の復活ー考えて参りたい！

山城 国は、今年度設計に入る予定という、早急な対策が必要と思うが？石嶺村長 十分に意見交換をしていきたい。

長浜ダムに太陽光発電ー検討していきたい！

山城 農家の電気料負担軽減の為に検討すべきではないか。福地課長 総合的に判断し、関係機関と検討していきたい。



この子らの放課後に児童館を！

問



當間 良史

村道座喜味十三号線周辺の進捗状況について

質 村道座喜味十三号線と村道三号線とを結ぶ生

三号線周辺については、現在、整備計画はない。

古民家の有効活用及び再生支援について

質 本村は既存の古民家の有効活用及び再生支援を行っているか。

答 既存の古民家の有効活用及び再生支援に関し

瓦葺き・茅葺きの家」となっている。

再質 本年は台風が多く早急な補強が必要な程老朽化した瓦葺の屋根もしくはそういう住居があるか等調査を行っているか

答 基本的には、個人財産である為、調査はして

競技場へのアクセス道路となる村道親志波平線が着手され、平成二四年度には駐車場整備を実施する予定である。又周辺の緑化など引き続き計画していきたい。

質 下水及び排水はどのようなになっているか

答 汚水処理は、七十人槽の浄化槽を設置し、処理水は既設管に取り付け放流しております。将来計画として親志波平線の道路排水として道路側溝及び管渠排水工事を行い流末排水処理を行います

答 完成記念として今年度でFC琉球という県内のサッカーチームを招致してのサッカースクール等も検討している。

般

活道路整備の進捗状況を伺う。

答 生活道路整備事業については、各字や地域からの要望などに基つき、年次的に予算の範囲において、緊急性、地区における整備状況、事業効果等を総合的にかんがみ整備をしている。座喜味十

本村で特に行っておりません。

質 対象となる基準はあるのか。

答 本村にはないが沖縄県における古民家活用モデル事業が行はれており「築五十年ほどたった純木造または一部木造で、

いない。

要望 「村民の財産、そして生命を守るためにも、実態調査をしていただきたいと思ひます。」

読谷村陸上競技場の周辺整備の進捗状況について

質 今後の使用状況は

質 地元商工業者への経済効果を把握されているか。

答 三年間の村内業者の受注額は五十億九千四百六万九千八百円で全体の八十七・八%村内建設業者以外の経済効果は把握していないが、売り上げ向上等に効果があったと考えている。

人が利用。質 築三十年なるが耐震化はされているか。

答 新耐震基準は適応されていない。質 ドーム型体育館の建設の予定はないか。

答 現在計画はない。



座喜味「まるみの家」

一、行政サービスから



長浜 宗則

質 南部地区への自動交

付機の設置は

答 今年の十月に運用開始予定。

質 インターネットで各種の申請書をダウンロードできないか。

答 現在は一部の申請のみで今後ホームページリニューアルの際に付加したい。

二、村道の街路樹と景観から

質 樹木の選定方法のプ

質 読谷村のマイクロバスの利用状況と大型バスの導入は検討されているか。

答 村の保有は二台で昨年の利用は三六二件、現時点での大型バスの導入の予定はしていない。

質 旅券の申請、交付を読谷村の窓口でできないか。

答 平成二十四年四月一日に開始できるよう事務手続きの最中である。

三、読谷村の公共工事から

質 過去三年間の発注額は

答 三年間で五十八億二百五十九万九千四百五十円。

四、村民体育館の建設について

質 村体育センターの利用状況は

答 二十二年度五百二十三件、で延べ一万二百八



村の窓口でも旅券の申請・交付を！



大城 行治

地方分権の中で市町村の窓口でも旅券業務ができるようになっております。

質 読谷村のパスポート申請数は何件か、また旅券業務の移譲を考えているか？

答 パスポート申請数は、平成二十年度七百八十六件・平成二十一年度七百八十二件・平成二十二年

する方向で事務手続きを進めている。

指定管理者による管理について

質 残波ビーチ及びニライビーチ管理組合、ユンタンザ一八番市、村おこし共進会（センターハウス）、残波かりゆし会（バ

後指定管理の予定は。答 五つの団体六つの施設は、指定期間を十年として

れている。ユンタンザ一八番市及び村おこし共進会については、運営費に

関して役場が一部負担を

している。運営状況は、意見交換の中から適時指導等を行っている。残波

課で、随時検討している。質 沖縄振興一括交付金（仮称）について読谷村

の来年度予算編成にあたって影響はあるのか？

答 現段階では次年度の予算編成には大きな影響

はないものと考えます。再質 今後は各自治体の職員の能力と、首長のリ

読谷村は平成二十二年度一件、平成二十三年度三

質 総合評価落札方式について伺う

答 読谷村は市町村向け簡易型（特別簡易型）を

再質 試行要領があるが、その中に予定価格、最低制限価格の公表もできないのか？

副村長答弁、その都度調整をして、公表しないという



指定管理されている残波かりゆし会

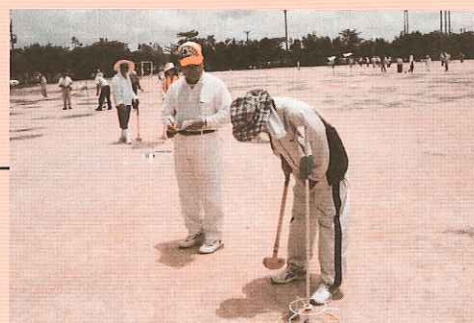
問



嘉手苺林春

一 親志・横田地に街区公園の設

答 平成二十三年二月八日に親志公民館において各団体の代表や有志の



図られるようにすべきと考えるが、当局の考えは。

答 読谷村部落行政運営補助金交付規程、行政区としての位置づけが現時

ことも考え方としてもっている

問

般

置は考えられないか。

質 この地域は高齢化が進展している地域である。他字と同様に街区公園を

二 横田自治会へ行政運営補助金を

交付し、さらに円滑な自治会運営が

点でありませぬので、交付できないものと考えている。



サークルで交流を深めている（横田自治会）



當山 勝吉

一 入札制度について。質 最低制限価格制度を

再質 一般指名競争入札では採用する予定は。

再質 建設経済部長 庁内で議論をし、検討したい。質 読谷村総合評価方式

入札制度施行要領には審査委員制度はありますか。

答 土木建設課長 技術力の審査、評価を行う技術審査会の規定はありませ

質 総合評価方式入札工事の加算点数はどの方式を採用しましたか。

答 土木建設課長 評価項目の性能等の数値により点数を付与する数値方式

再質 土木建設課長 企業の工事の施工実績、配置予定技術者の工事実績、企業の営業所在地など六項目を設定しております。

質 総合評価方式の不利な点はなんですか。

答 土木建設課長 入札に要する業務量の増加、契約締結までの時間の増加

再質 インターネットを導入するに当たって、導入の

再質 インターネット導入について、当局の考えは。再質 総務課長 平成十四年度地域インターネット

事業により、各字へパソコン、プリンターを貸出し、

再質 インターネットを

再質 インターネットを

再質 村長はFMよみたん議会で中継の中で世界に

読谷村の情報が流れること

再質 インターネットを

再質 インターネットを

再質 村長はFMよみたん議会で中継の中で世界に



総合評価方式入札工事（中央残波線）



比嘉 郁也

村民健康づくりについて

ア 健康づくりサポート...

答 真栄田 敏光課長

健康増進法第三条の国...

答 特定健診の未受診者...

診奨励だけではなく、健...

答 私どものほうで事前...

す。いろいろな拠点施設...



健康づくりサポーター講習会

問



山内 政徳

ひとり暮らし世帯、地域ぐるみで見守るシステムを。

一 我が村の単身世帯、

答 健康づくりサポーター...

再質 世界保健機構の概...

再質 日頃健康づくりに...

提言 運動も今までの既成...

えております。

学校給食の安全について現状はどうなっているか。

答 牛乳は県内一〇〇%

問

特にひとり暮らしの高齢...

二 ひとり暮らし高齢者...

三 認知症高齢者の徘徊...

四 「医療情報キット」...

うつ病対策について。

答 ふれあいサロン「な...



村民の相談室として使用している(元 医師住宅)



伊佐 真武

一、国道読谷道路及び嘉手納バイパスについて

質 ①県道12号線以北の...

答 ①本年度、橋梁の予...

②県道12号線から中央...

降の予定。③県道6号線...

境を守る会は県企業局に...

報告書があります。それ...

三、比謝川碑文前の生活排水路について

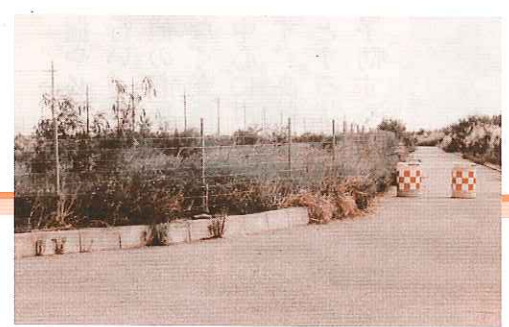
質 排水路の問題解消対...

答 現在測量などの調査...

四、比謝3号線沿いの4台の放置車両について

質 今年4月に放置自動...

答 車両番号を確認し、...



国道バイパス用地(飛行場跡地)

オツハ一団体さん

古堅小学校

読み聞かせサークル

パステルの会

古堅小学校児童の父母、卒業生の母父、先生方で構成する読み聞かせサークル「パステルの会」が今年発足13周年を迎えました。

現在会員は42名で毎週金曜日の朝に（幼稚園3クラス、全学年23クラス）各教室に1人ずつ入って15分間読み聞かせを行っています。

一昨年、古堅小学校で定年退職を迎えた知花伸雄校長先生や、古堅幼稚園で長年いらした大灣由美子先生始め発足当時のメンバーに助けられながら、そして若い父母の皆さんも絵本のすばらしさを教わりながらの活動なので新しいメンバーも増えています。

キラキラした目で絵本の世界へ入りこんでいく子ども達からパワーを吸収し、元気をもらい自分自身を高める場になっています。

読み聞かせ後、PTA室でのコーヒータイムも楽しみのひとつで、情報交換をしたり、先輩のお母さん方から子育てのアドバイスももらったり、和気あいあいのサークルです。

12月議会は12月6日からの予定です。

